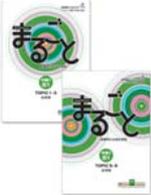


国際交流基金日本語国際センター25周年記念シンポジウム
課題遂行を出発点とした言語学習デザイン『まるごと 日本のことばと文化』の挑戦

【セッション1】
「JF 日本語教育スタンダード」の理念と
日本語コースブック『まるごと』の開発

「自立した言語使用者」を
育てる中級教材の開発



磯村一弘・藤長かおる
国際交流基金日本語国際センター

1

まるごと「中級」のレベル

- まるごと「中級1」「中級2」=B1レベル
- B1レベル=「自立した言語使用者」



2

「自立した言語使用者」とは？

- 仕事、学校、娯楽で普段出合うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。
- その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。
- 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心(ママ)を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べるができる。

<CEFR 共通参照レベル: 全体的な尺度(吉島茂、大橋理枝訳)>

3

つまり……

- 日常的なコミュニケーションであれば、日本語を使って自分で大抵のことを行える

(そのためには)

- オーセンティックなテキストでも扱える
- 全てが理解できなくても課題が遂行できる
- 日本語の限界はストラテジーで補える

4

課題遂行を出発点とした中級教材作成

- 海外の日本語学習者は、どんなとき、どんな場面で日本語を使うのか？
→具体的な課題遂行場面を考える

(参考)
基金海外センターの学習者を対象にアンケートを実施
回答例: 現地の日本人の友人と日本語で会話する
YouTubeで日本語の動画を見る
SNSで日本人とやりとりする ……

5

課題遂行を出発点とした中級教材作成

- 具体的な場面での課題遂行 (Can-do) を教科書での到達目標として設定

↑
これを達成するための学習設計

Can-doの達成場面のモデルテキストを執筆
→ そこから言語項目を抽出
→ 練習をデザイン

6

教材の特徴

① 海外で、実際にありそうな場面・タスク

- 場面のオーセンティシティー
- タスクのオーセンティシティー

例：日本人にお勧めの日本料理屋を教えてください
他国の友人とSkypeで近況を話す
Twitterのプロフィールを読んでフォローする
.....

7

教材の特徴

② できるだけオーセンティックな素材の使用

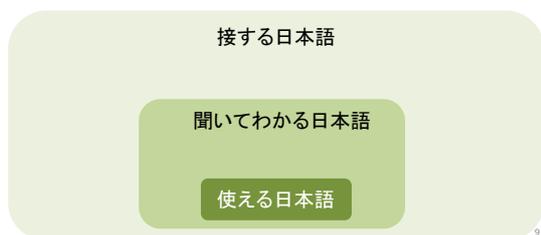
- 語彙や表現などのコントロールはできるだけしない
- バリエティに富んだスタイル(場面、人間関係による違い)を取り入れる
- 実際に使われている表現も積極的に使用
(例：ら抜き言葉、「すごいうれしい」、「カンパチになります」等)
- 読解素材にはルビなし

8

教材の特徴

③ わからないものがあったとしても気にしない態度を養成

- 実際の日本語使用場面では、全部を理解する必要はない



9

教材の特徴

④ ストラテジーの育成を重視

- 限られた日本語力でも生の日本語に立ち向かう
←ストラテジーを使って補える力
- 理解のために必要なストラテジー
- 産出のために必要なストラテジー

10

教材の特徴

⑤ 学習者の気づき、モニターを重視

- 多様なスタイル(丁寧体・普通体、敬語の使用)の提示、背景の考察
- 語彙や文法・表現の意味、機能を考える
- 談話構成への気づき

11

教材の特徴

⑥ 異文化理解につながるトピックと活動

- トピックごとに様々な文化的インプット・活動



- 様々な国籍、世代、立場、経験、価値観を持つ登場人物

12

「まるごと中級1」の構成と特徴

9つのトピック

- TOPIC 1「はじめての人と」
- TOPIC 2「おすすめの料理」
- TOPIC 3「私の好きな音楽」
- TOPIC 4「温泉に行こう」
- TOPIC 5「最近どう？」
- TOPIC 6「マンガを読もう」
- TOPIC 7「武道に挑戦！」
- TOPIC 8「便利な道具」
- TOPIC 9「伝統的な祭り」



「まるごと中級1」の構成と特徴

各トピックの構成



PART1 「聞いてわかる」

- 聞き手の立場を明確化した、目的を持った聞き取り
(例)
「日本語おしゃべりサークル」での日本人の自己紹介
同僚にお勧めの日本料理屋を聞く
JSTVの日本語放送番組
友人が好きなマンガについて話している
.....
- 大まかな内容の理解が目的
(何回か繰り返して聞き、段階的に理解)



PART1 「聞いてわかる」

- 聞くためのストラテジー
確認、聞き返し、推測、予測...

わからないことをくり返して、聞き直す Asking for clarification of the meaning by repeating the word.

(1) 数字のことばの意味がわからないとき、どう聞き直しましたか。() に書きましょう。

① 「武蔵」：元号もすき焼きもありません。これは、どこが間違い、(うまい) ああ、お肉はよかったです。

② 「OSHIII」：安い店がいっぱい、(OSHIII) って名前のレストランがありますよ。バイクで来られます。

() ?) ああ、ピッコロ。食べ放題で割を食っていただきます。

絵画や写真からことばの意味を考える Working out the meaning of words and phrases from images and photographs.

(1) レゾーターの図の中に、わからないことば(びー) という語) がありました。下の写真 (テレビの画面) を見ながら意味の組み合わせを聞いて、そのことばの意味を考えましょう。

①	②	③	④
映画			
意味			

PART2 「会話する」

- 海外でありそうな会話場面での課題遂行
(例)
街で見かけた日本人に話しかけて自分のことを話す
カラオケの話をきっかけに、音楽談義をする
日本で知り合った他国の友人と、Skypeで近況を話す
武道の道場に行き、日本人の道場主に質問する
居酒屋で、日本人の知り合いに日本旅行の経験を話す
.....



PART2 「会話する」

- 会話を聞く
大まかな内容の理解
形式に注目
言語項目の練習
談話の構造への意識化
↓
ロールプレイ(最終目標)

(a) 日本料理のレストランに行ったら、隣のテーブルに日本人がいました。話しかけて、会話をしましょう。

PART2 「会話する」

- 言語項目の練習:
→トピックと関連した、意味のある文脈で

役者自身の形に言いましょう。

① 友達とカラオケに行ったら、私が全部 (私) 歌いました → 歌われました。

② 昨日のコンサートでは、愛な曲をたくさん (聞き) ました → 聞きました。

③ カラオケは好きじゃないのに、無理に (つきあ) いました → つきあいました。

④ カラオケの店で、30分 (待ちま) した → 待ちました。

⑤ 昨日はパーティーで、お酒をたくさん (飲ま) ました → 飲みました。



PART2 「会話する」

- 会話のストラテジー
言い換え、説明、反応、前置き...
- 発音
韻律の練習中心
→相手に負担を掛けないレベルを目標

チョッパーは **ワンピース** にでてくるキャラクターです。

チョッパーは **ワンピース** にでてくる **いし** のキャラクターです。

カクシは **ナルト** にでてくるキャラクターです。

カクシは **ナルト** にでてくる **にんじ** のキャラクターです。

いし はフォーカスのある部分



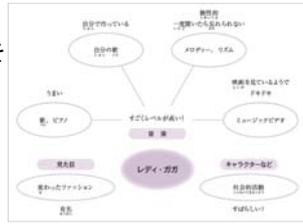
PART3 「長く話す」

- 実際にありそうな会話場面で、**まとまりのある話**をする (例)
出張者に自国の料理について紹介する
好きな音楽について話す
日本旅行で行きたいところについて話す
自国の伝統的なスポーツについて話す
.....
→スピーチではない



PART3 「長く話す」

- モデルテキストの理解
表現の確認
モデルのシャドーイング
再話
自分の言いたいことを話す (最終目標)



PART4 「読んでわかる」

- 文脈のある読解 (どんな場面で何の目的でこのテキストを読んでいるか) (例)
Twitterのプロフィールを読んでフォローする
クックパッドでお好み焼きのレシピを見る
旅行サイトで旅館のクチコミを読む
ネット上で、ブログやコラム記事などを読む
.....
- 内容の理解が目的
文型や表現を確認するために読むのではない

PART4 「読んでわかる」

- ルビがない素材を読む
- 様々なフォントに接する (教科書体は不使用)
→実際の素材を再現



PART4 「読んでわかる」

- 読むための戦略ー
文字からの推測、文脈からの推測、予測...
- 言語項目の練習
理解できればいい表現の確認・整理
(アウトプットは必要なし)
- 漢字
漢字に注目した語彙の整理・拡充
キーボード入力(手書きは期待しない)

25

PART5 「書く」

- 実際にありそうな場面での「書き」
(例)
問い合わせのメール
日本人の友人を誘うメール
ネットの掲示板へのコメント
Facebookの近況
.....
≠授業のための作文練習
- キーボードでの入力が前提、手書きができなくてもよい



26

試用の様子から

- 2014年9月～マドリード／バンコク
- 「教科書のモデルと自分たちが使える日本語のギャップが大きい」
- はじめは「お通夜」状態→次第に慣れてくる
- 「ペアで自由に会話ができることが新鮮で(今まではモデル会話を暗記して話すことが多かった)、楽しい」
- 「学習者は実感として自分が話す日本語のレベルが上がったと思っている」
- 「自然な話し言葉が多かったり、聞く日本語も長くなっていたりする中で、楽しく勉強しながら、伸びを感じている」

27

試用の様子から

- Facebookに学習者用のグループ



まとめ

- これまでの中級教科書
 - 読解文を用いた、表現の学習が中心
 - どんな文脈でなぜその文章を読むのか、不明
 - 分析しながら、細部まで全部理解することを期待
 - コントロールされたテキストもある(ルビなど)
 - 会話、作文なども同様の傾向(文脈や目的が不明)

29

まとめ

- 「まるごと中級」で目指した
「課題遂行を出発点とした言語学習デザイン」

海外の学習者にとっての課題遂行
場面、目的、タスクを明確にして設定
(どんな花を咲かせるか)

↑
これを達成するための練習・素材の
デザイン

文法・文型、ストラテジー
社会言語能力、発音
オーセンティックな素材.....

